



日本競輪選手養成所

Japan Institute of KEIRIN



日本競輪選手養成所

〒410-2402 静岡県伊豆市大野1827

競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。



高い理念と確かな指導で 世界でも通用するプロ競輪選手を育成。

日本競輪選手養成所は豊かな自然と森に囲まれた伊豆半島の中央に位置し、最新の設備と練習環境を有する、日本で唯一の競輪選手養成機関です。克己・誠実・親和を基本方針として、心身ともに健やかなプロフェッショナルアスリートに必要な技能・知識を身に付け、立派な社会人として必要な人格と良識を養成

しています。ここで行われる約1年間の養成は、学科・実科・特別養成活動の3本柱により構成され、常に最新の理論を取り入れて、効果的な養成を目指しています。

在籍中は厳しい訓練と規則正しい生活を通じて、競輪選手として必要な基礎を身に着けるとともに、一人前の社会人に相応しい人格を磨きます。

ご挨拶

日本競輪選手養成所は、1950年に日本サイクリストセンターとして開設しました。その後、70年あまりの歴史を経て、数々の名選手を生みだしています。当然、現役選手だった私も日本競輪選手養成所で育てられたひとり。みなさんの先輩にあたります。ここで競輪の先輩として、人生の先輩として、私がみなさんに伝えたいのは、たったひとつのことです。

それは「努力」を惜しまないということ。当たり前のことのように聞こえるかもしれませんが、プロアスリートとして、これが最も大切なことだと私は信じています。努力なくして成功した選手を私は知りません。競輪はペダルをこぐという単純なものだから、流した汗の多い人が勝つ。そう信じて、努力を続ける。練習して、強くなる。それが競輪という競技の真理です。だから自転車の経験がなくても、すべてはこれからの努力次第。競輪は意欲あるスポーツ選手達をいつでもお待ちしております。

瀧澤正光

日本競輪選手養成所 所長



日本競輪選手養成所の歴史

昭和25年 9月	東京都北多摩郡調布町（現調布市）に日本サイクリストセンターとして開設	昭和51年 4月	適性試験合格者の入所開始
9月	男女既登録選手の再訓練を開始	昭和58年 5月	養成期間技能10ヶ月、適性12ヶ月へ
昭和26年 8月	選手の養成教育を開始 第1回候補生135名入所	平成3年 12月	生徒宿舍竣工
昭和30年 4月	日本競輪学校と改称。校旗を制定	平成11年 8月	特別選抜入学試験を採用
昭和43年 7月	静岡県田方郡修善寺町字大野（桑木嵯峨）1827に移転開校	平成12年 5月	上・下級生同時養成を中止
7月	養成期間8ヶ月とする	平成14年12月	校舎棟耐震補強工事竣工
昭和44年11月	高松宮・同妃殿下来校	平成22年 4月	第23代校長に瀧澤正光就任
昭和46年 4月	養成期間10ヶ月へ	平成23年 5月	女子第1回生候補生（第102回生）35名入学
10月	上・下級生同時養成を開始	令和元年 5月	日本競輪選手養成所と改称
昭和48年 4月	養成期間12ヶ月へ	令和元年 7月	JKA250（屋内型木製ピスト）竣工
		令和元年12月	117回生（男子）2名が史上初の早期卒業
		令和3年 12月	121回生（男子）2名が早期卒業



広大な敷地に充実した施設の数々。
選手になる上で能力を最大限高めることができる
万全の環境。

標高300mほどの緑に囲まれた丘陵地には、選手養成に最善な設備が整っています。

選手候補生専用のピスト、周回サーキットコース、水平走路、体育館、能力測定室、自転車整備室等に加え、隣接するサイクルスポーツセンターの施設も活用して、万全な体制で未来の競輪選手を養成します。

また2019年7月にはJKA250が完成し、世界でも活躍することができる競輪選手の養成にも力を入れています。

施設概要

敷地面積／約50,000坪(165,000平方メートル)

養成施設／●講堂、体育館●自転車整備室

●屋内ローラー練習場●北400ピスト●JKA400

●333ピスト●JKA250●伊豆ベロドローム

●水平走路●1KmCC●3KmCC

●選手候補生宿舍●第1格納庫(女子)

●第2格納庫(男子)●能力測定室 等



▲JKA250 外観



▲JKA250 内観

訓練施設紹介



▲選手候補生宿舍



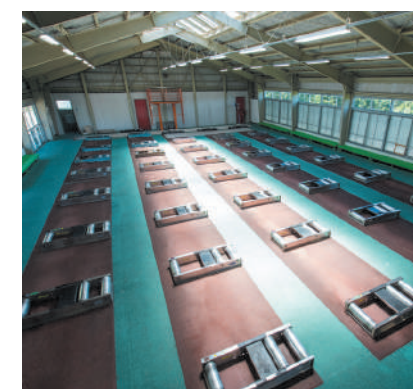
▲JKA400



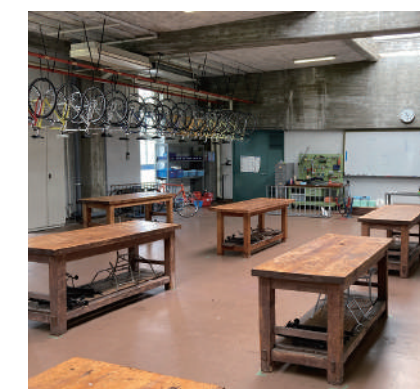
▲講堂



▲333mピスト



▲ローラー場



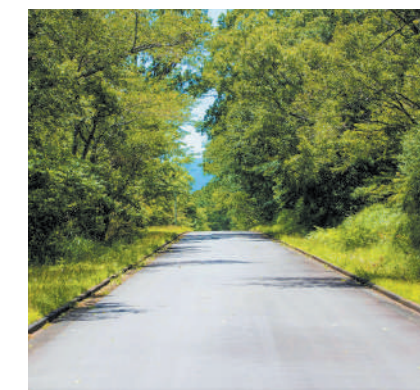
▲自転車整備室



▲視聴覚教室



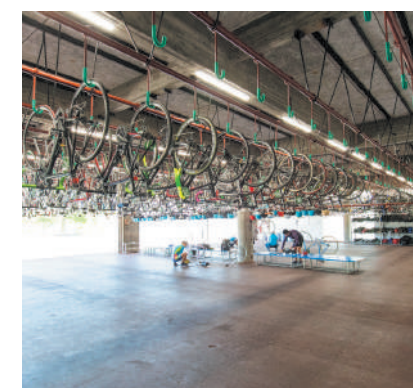
▲体育館



▲1kmcc



▲能力測定室



▲格納庫



▲教室

科学的トレーニングの推進



- ◎短距離ナショナルチームのトレーニング理論を適用した訓練の拡充
- ◎トレーニング中の走行データ等を解析できる訓練機材の導入
- ◎選手候補生が自主的にトレーニングできるよう『自主トレーニング用マニュアル』を作成
- ◎科学的サポートができるよう教官研修を実施

学科講義の拡充



- ◎専門家によるメンタルトレーニングの授業に合わせ、選手候補生が自ら行うセルフマネジメントの強化
- ◎お客様相談室に寄せられる「お客様の生の声」を教材にした授業の導入
- ◎プロ選手として適切な情報発信ができるよう、インタビュー形式の授業の導入
- ◎リスクマネジメント能力を身に付けるため、SNS等の使用方法に関する授業の導入
- ◎海外選手とも必要なコミュニケーションが取れるよう、英会話授業の導入

映像での確認



- ◎訓練時の走行フォームをタブレット端末などで確認可能
- ◎映像を確認しながら的確な指導が可能
- ◎競走訓練の映像もその日のうちに確認可能

栄養管理された食事の提供



- ◎管理栄養士により毎食、摂取カロリー・栄養価を計算した食事を提供
- ◎朝、昼、夜と生活、訓練内容に合わせた食事内容
- ◎デビューしてから食事指導も実施

1日のスケジュール[例]

6:30	起床	
6:45	点呼	
6:50-7:10	錬成	
7:10-7:30	清掃	
7:30-8:05	朝食	
9:00	課業整列	
9:05-9:45	第1時限	学科や訓練を実施
9:55-10:35	第2時限	
10:45-11:25	第3時限	
11:25-12:05	昼食	
12:05-12:45	訓練準備時間	
12:50	課業整列	
12:55-13:35	第4時限	学科や訓練を実施
13:45-14:25	第5時限	
14:35-15:15	第6時限	
15:25-16:05	第7時限	
16:15-16:55	第8時限	
17:00-19:00	入浴	
17:45-18:45	夕食	
19:15-19:45	自習	
19:45-20:55	自由時間	
21:00	点呼	
22:00	消灯	



年間のスケジュール[例]

4月	事前養成訓練
5月	入所式
入所直後期(5月頃)	第1回卒業認定考査(実科) 第1回記録会
6月	宝輪観音祭
8月	夏季帰省
中間期(9月頃)	第2回卒業認定考査(実科・学科・人物・身体) 第2回記録会
10月頃	耐久訓練
11月中旬	第1回トーナメント競走
11月下旬	参加実習
12月下旬	早期卒業
年末年始	冬季帰省
2月	第2回トーナメント競走
卒業直前期(2月頃)	第3回卒業認定考査(実科・学科・人物) 第3回記録会 選手資格検定
3月	卒業記念レース 卒業式

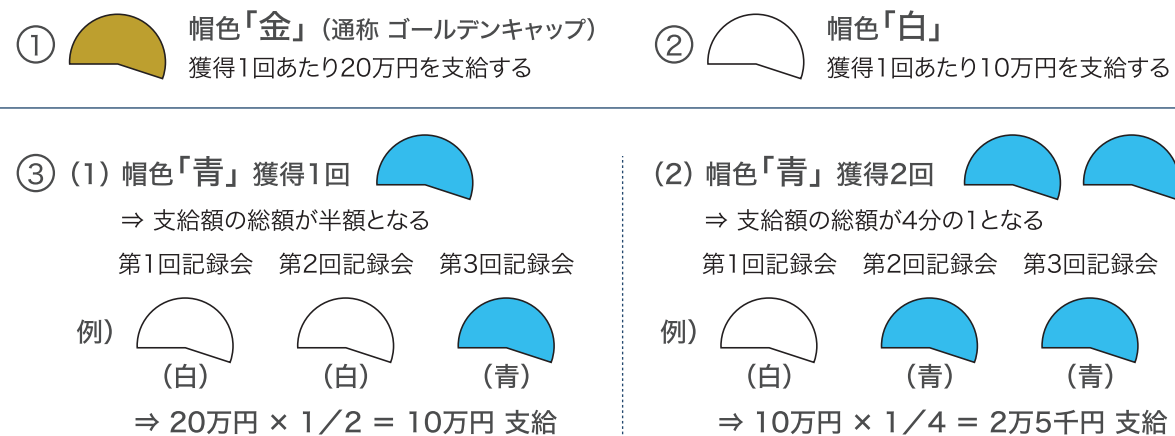
※スケジュールは回生毎に若干異なります。また、感染症拡大等の社会情勢に応じて、夏季帰省・冬季帰省を実施しない場合があります。



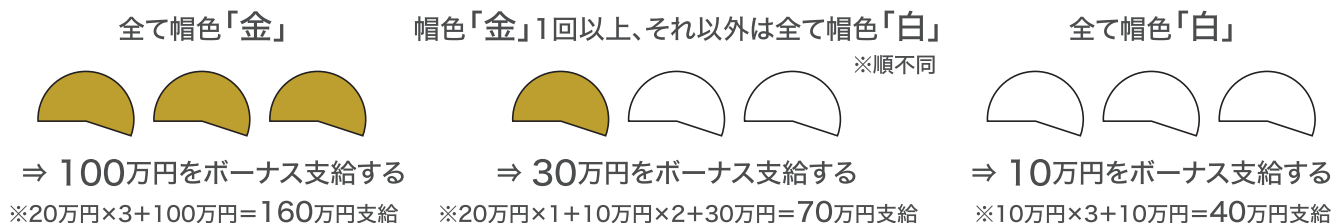
報奨金制度

年3回の各記録会の成績により帽色が振り分けられ、帽色に応じた報奨金が与えられます。

金帽：スピード、持久力が特に優れている者
 白帽：スピード、持久力が優れている者
 黒帽：スピードはあるが持久力に劣る者
 赤帽：持久力はあるがスピードに劣る者
 青帽：スピード、持久力が劣る者



年間全3回の記録会において



早期卒業制度

入所直後期(5月)、あるいは中間期(9月)に実施する卒業認定記録会において最優秀の金帽(ゴールデンキャップ)を獲得し、かつ養成所が定める基準タイムをクリアした者が早期卒業候補者となります。

早期卒業候補者になると、別カリキュラムを履修することとなり、養成所が定める所定の基準をクリアすれば12月卒業(通常は翌年3月卒業)となります。

1月にプロデビューすることは、お客様やメディアから注目を浴びることとなり、さらにレースで活躍することで競輪界に大きく貢献できる可能性があります。

高い志を持ち、次世代の競輪界をリードしていくような人材を日本競輪選手養成所はお待ちしています。

2021年度では、男子候補生2名が早期卒業し、デビュー後すぐに活躍をしています。



ハイパフォーマンスディビジョン (HPD)

2016年10月、公益財団法人JKAは、トラック競技(短距離)の強化育成新体制として外国人コーチを招聘し、日本競輪選手養成所内(旧名称・日本競輪学校)にハイパフォーマンスディビジョン(HPD)を設置しました。

ハイパフォーマンスディビジョン(HPD)とは、世界で活躍できる選手を育てることを目的としたトレーニンググループです。

外国人コーチと医科学スタッフは、選抜された日本競輪選手養成所候補生に対して、ナショナルチーム選手と同様の環境(トレーニングメソッド、トレーニング理論及びトレーニング機器)でトレーニングを実施します。

ハイパフォーマンスディビジョンでは、将来、国際大会で活躍する選手の強化育成と選手発掘を行っています。



More CADENCE/Shutaro Mochizuki

Active in the world! HPD出身の選手!

モデルケース(活躍例)



中野 慎詞 〈なかの しんじ〉

生年月日/1999年6月8日 期別/121期(早期卒業) 運動歴/アルペンスキー、自転車競技

競技成績 ・2023年8月 UCIトラック世界選手権大会(イギリス):男子ケイリン3位
 ・2024年2月 UCIトラックネーションズカップ(オーストラリア):男子ケイリン2位

太田 海也 〈おおた かいや〉

生年月日/1999年7月27日 期別/121期(早期卒業) 運動歴/ボート競技、サッカー

競技成績 ・2024年2月 UCIトラックネーションズカップ(オーストラリア):男子スプリント1位、男子チームスプリント2位、男子ケイリン3位
 ・2024年3月 UCIトラックネーションズカップ(香港):男子スプリント1位、男子チームスプリント2位、男子ケイリン1位



太田 りゆ 〈おおた りゆ〉

生年月日/1994年8月17日 期別/112期 運動歴/陸上競技

競技成績 ・2023年6月 アジア選手権(マレーシア):女子スプリント1位、女子チームスプリント2位、女子ケイリン3位
 ・2023年9月 アジア競技大会(中国):女子スプリント3位



南部
翔大



運動競技歴:ラグビー

適性

競輪選手を目指そうと思ったきっかけ・理由

4歳から22歳まで18年間ラグビーをやっており、大学3年生で就職活動が始まった際に自分の身体を使って稼げる仕事がないと考えていました。その時に父から競輪を紹介されて興味をもち、競輪選手を目指しました。

養成所での生活について

私は適性での入所で、体力には自信があったものの自転車には全くの素人でしたので入所時は不安ばかりでした。しかし、教官の方々の教えや同期の支えのおかげで日々自分自身の成長を感じられて、ツライことだけでなく楽しいこともたくさんあり、充実した養成所生活を過ごすことができました。

次回生に向けて先輩としてのメッセージ

競輪は勝負の世界なので、どうしても他人と自分を比べてしまうこともあると思います。私もそうでしたが、適性で自転車経験が少ないと余計に比べてしまうかもしれません。しかし、他人と自分を比べるのではなく、日々自分自身の成長を楽しんで養成所生活を有意義なものにしてください！



入所試験までの1日の練習スケジュール

5:00	起床
5:45	練習(ラグビー部)
8:00	朝食
9:00	授業
12:00	昼食
15:30	ジムトレーニング (ウエイトトレーニング、ワットバイク6秒・45秒)
19:00	自由時間
20:30	ストレッチ
22:00	就寝

中石
湊



運動競技歴:陸上競技

技能

競輪選手を目指そうと思ったきっかけ・理由

小さい頃に競輪場に行ったことがあり、そこで走っている競輪選手の迫力や、お客様の歓声にすごくビックリしたことが印象に残っています。自分は走ることに楽しさを感じていたので、小学4年生から中学3年生の夏まで陸上競技を続けていました。しかし、中学3年生の時にケガをして陸上競技を続けられなくなってしまい、どうしようか悩んでいた時に、小さい頃の記憶で印象に残っていた競輪の道に進もうと決意しました。



養成所での生活について

色々な所から来た候補生と10ヵ月共に生活をして、共同生活の中で上下関係を学んだり、1人で生活していく力、協力し合う力など、生きていく上でとても大切なものを学べる場所だと実感しました。

次回生に向けて先輩としてのメッセージ

10ヵ月間は毎日がとても大切で、在籍中は色々と考えてしまうこともあり全力を出し切れない日もありましたが、いざ養成所での生活が終わると「あの時もっと全力でやればよかった」と後悔しています。皆さんは出せる力を全て出し切り、養成所生活を過ごしてください。

入所試験までの1日の練習スケジュール

7:00	起床
7:15	朝食
8:00	登校、授業
16:00	バンク練習 (フライング100m～400m/2～4本) (スタンディング200m～600m/1～2本)
練習終了後	自由時間・就寝

高木
萌那

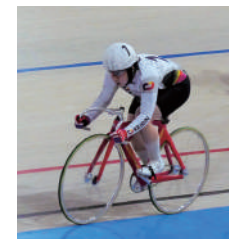


運動競技歴:バレエ、ゴルフ、野球

適性

競輪選手を目指そうと思ったきっかけ・理由

幼少期からプロスポーツ選手になるのが夢でした。高校卒業後の進路を考えたときに、祖父の工藤元司郎(16期・引退)、そして父の高木和仁(76期)の存在もあり、競輪に興味をもちました。また、養成所を受験する際に自転車競技未経験者でも適性試験で受験が可能であることを知り、競輪選手を目指しました。



養成所での生活について

正直、楽しいことよりも辛いことの方が多かった気がします。それでも、毎日自転車に乗り、成長がタイムに表れ始めたときは頑張ってきて良かったと改めて実感できました。また、熱い言葉で指導してくださる教官の方や、同期の仲間たちと苦楽を共にすることで人間的にも成長できたと思いました。

次回生に向けて先輩としてのメッセージ

私は養成所に入所して9ヵ月でゴールデンキャップを獲得することができました。自転車競技の経験が無くても、己のやる気次第でどこまでも成長できるのが「競輪」というスポーツです。全力で10ヵ月間を走り切り、卒業の時に10ヵ月頑張った良かったと思えるように過ごしてください。応援しています！

入所試験までの1日の練習スケジュール

5:30	起床・朝食
8:00	高校(授業)
13:00	昼食
16:30	授業
17:00	バンク(ジャンプ系、パワーマックス/回転力・瞬発力)
19:00	入浴・夕食
20:00	SPI、作文対策
21:30	ストレッチ、自由時間
23:00	就寝

仲澤
春香



運動競技歴:ボート競技

技能

競輪選手を目指そうと思ったきっかけ・理由

もともと実業団でボート競技をしていましたが、イップスになってしまい会社と競技をやめることにしました。そのことを高校時代の顧問の先生に報告したところ、「競輪をやってみないか」と誘われ、まだスポーツの世界で戦いたいと思っていたので競輪選手を目指しました。

養成所での生活について

とても充実していたと思います。バランスの良い食事を提供していたり、練習環境が素晴らしいので自転車に対する悩みに真っすぐ向き合い続けることができました。通信機器が無い分、同期とも色々な話ができただけで、楽しい思い出もたくさん作れました。



次回生に向けて先輩としてのメッセージ

色々な規則に縛られる生活はすごく苦しかったり、嫌だなと思ったりすることもあると思います。しかし、この経験は選手になる上で必要だと思いますし、その中でも楽しい時間を見つけたり、幸せを感じる経験は養成所でしか味わえません。やる時はやる、休む時は休む。自分の中で楽しさや幸せを見つけ、そしてメリハリをつけて養成所生活を過ごしてください。

入所試験までの1日の練習スケジュール

6:30	起床・朝食
7:20	ジム(体操、ストレッチ、ウエイトトレーニング)
9:30	練習(ロード、ジムトレーニング、ワットバイク等)
12:30	昼食・昼寝
14:30	練習(バンク、ワットバイク、ロード等)
17:30	帰宅、入浴
18:00	夕食
19:00	自由時間
21:30	就寝

応募資格

- ◎ 満17歳以上(入所する年度の4月1日時点)であること。 ◎ 日本国内に居住する者であること。
◎ 「募集要項3.応募資格(3)」の事項に該当しない者であること。

一般試験	技能試験	自転車競技経験者などバンクで走行経験のある方がこちらで受験
		1次試験:200m・1000m(女子は500m)の測定 2次試験:身体検査・人物考査(口頭試問、適性検査、受験態度等)を実施
	適性試験	自転車競技未経験者、他競技からの転向の方はこちらで受験
		1次試験:跳躍高・背筋力・柔軟性を測定。 2次試験:固定式自転車による走行能力測定(最大パワー・最大回転数・平均パワー) 身体検査・人物考査(口頭試問、適性検査、受験態度等)を実施

〈合格倍率〉

	試験区分	1次試験倍率	2次試験倍率
男子 (127回生)	技能試験	4.03	1.20
	適性試験	4.44	2.67
男子 (125回生)	技能試験	4.05	1.23
	適性試験	3.80	3.00
男子 (123回生)	技能試験	4.08	1.23
	適性試験	3.86	3.00

〈合格倍率〉

	試験区分	1次試験倍率	2次試験倍率
女子 (128回生)	技能試験	1.68	1.29
	適性試験	1.82	3.67
女子 (126回生)	技能試験	1.54	1.60
	適性試験	1.14	1.40
女子 (124回生)	技能試験	1.74	1.19
	適性試験	1.56	2.25

特別選抜試験

スポーツ競技において世界レベルの実績がある人が対象

- ①オリンピック大会に出場し、本財団が特に認めた成績を収めた者。
②世界選手権競技大会に出場し、1位から8位の成績を収めた者。自転車競技以外の競技については、本財団が認めた大会であること。
③ワールドカップ大会あるいはそれに類する大会に出場して、1位から3位の成績を収めた者。自転車競技以外の競技については、本財団が認めた大会であること。
上記の3つのうち1つに該当する者。

回生	氏名	登録府県	選抜理由	最高級班
88回	タケダ トヨキ 武田 豊樹	茨城	2002年ソルトレークシティ五輪 スピードスケート500m 8位入賞	SS
88回	オオモリ ケイチ 大森 慶一	北海道	世界自転車競技センターにおける訓練受講	S1
88回	ナガイ キヨフミ 永井 清史	岐阜	世界自転車競技センターにおける訓練受講	SS
90回	キタツル ツバサ 北津留 翼	福岡	世界自転車競技センターにおける訓練受講	S1
91回	シバサキ アツシ 柴崎 淳	三重	世界自転車競技センターにおける訓練受講	S1
117回	ハラ ダイチ 原 大智	宮城	2018年平昌五輪 フリースタイル競技 モーグル種目 3位	A1
119回	クボキ カズシゲ 窪木 一茂	福島	2016年リオ五輪 オムニアム 14位	S2
121回	チカタニ リョウ 近谷 涼	富山	2017年12月UCIトラックワールドカップ第4戦 チームパシュート 2位	A2
121回	イチマル ショウゴ 一丸 尚伍	大分	2017年12月UCIトラックワールドカップ第4戦 チームパシュート 2位	A1

2024年4月現在

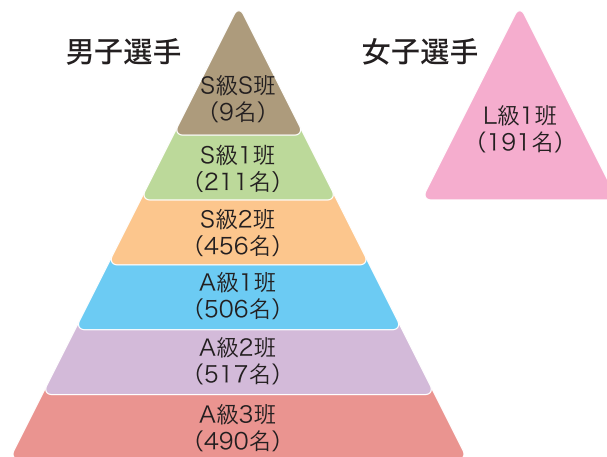
競輪選手のカテゴリー

競輪選手と言っても男女でそれぞれ異なるカテゴリーとなっています。

男子はS級S班を頂点にA級3班までの6つのカテゴリーに分かれています。新人選手は、まずA級3班から選手生活を始め、一番上のカテゴリーであるS級S班を目指します。

女子はL級1班のみのカテゴリーで、競走を行います。

男女を合計すると2000名以上の競輪選手が登録されており、プロスポーツの中でもかなり多くのプロ選手が活躍しています。

合計**2380**名 ※2023年実績

競輪選手の賞金

2023年獲得賞金最高額

男性	2億5,270万円	女性	2,903万円
----	------------------	----	----------------

歴代最高獲得賞金額

男性	3億584万円 (2022年)	女性	3,095万円 (2022年)
----	---------------------------	----	---------------------------

競輪選手級班別平均獲得賞金(2023年)

男性	獲得賞金(平均)	女性	獲得賞金(平均)
SS	約 15,030万円	L1	約 916万円
S1	約 2,951万円		
S2	約 1,708万円		
A1	約 1,269万円		
A2	約 1,056万円		
A3	約 919万円		

デビュー後(2023年3月~12月)の新人選手獲得賞金TOP3

男性	収入	女性	収入
1位	885万円	1位	638万円
2位	882万円	2位	637万円
3位	866万円	3位	599万円



競輪選手のひと月のスケジュール(例)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
トレーニング								調整 トレーニング	調整	競輪開催				オフ
										前日検査	初日	2日目	最終日	
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
トレーニング						調整 トレーニング	調整	競輪開催				オフ	トレーニング	
								前日検査	初日	2日目	最終日			

競輪選手は、ひと月に2回もしくは3回競輪開催に参加します。

1回の開催に係る日数は自転車の検査などの出場資格の確認を行う前日検査を含めて原則4日間となっています。

この開催の期間中は、携帯電話等の情報通信機器は使用禁止となり、不正防止のため、外部との連絡を取れないようになります。

年間で数えると約25前後の開催に選手は参加することになります。

What's About ガールズケイリンとは! GIRLS KEIRIN



ユニフォーム

世界のスポーツ“KEIRIN”を全面に押し出した、競技志向かつインターナショナルなデザイン

プロフェッショナル×スポーツ

2012年に復活したガールズケイリンは、競輪の国際大会で採用しているルールを取り入れた、シンプルでスポーツ性の高いレース。男子競輪とは“ルール”も“自転車”も違うプロスポーツ。

詳しくはHPへ



PROFESSIONAL × SPORTS

Other Color

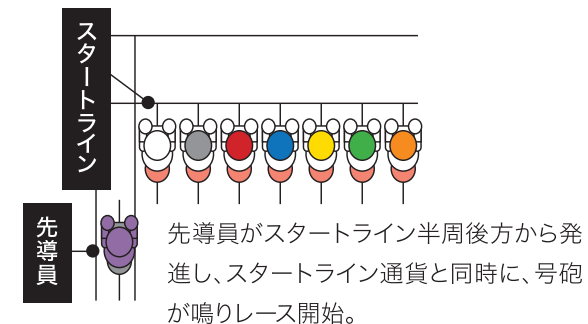


レーサー

ガールズ選手が使用する自転車。自転車の車体部分は男子用(クロモリ鋼など)と異なり、カーボン製フレームが使用されます。

ルール (RULE)

7人の選手によって争われる7車立。スポーツ性を重視した判定基準を採用。よりシンプルな個人戦。



カテゴリー (CATEGORY)

全員が「L級1班」に格付けされます。平均獲得金額は、約916万円。年間最高獲得金額は約3,095万円。10代～50代まで幅広い世代が活躍!

女子選手
年間獲得賞金最高額
3,095万円

級班と選手数
L級1班 191名
平均獲得賞金
約916万円

※2023年実績



2023年賞金ランキング1位の佐藤水菜選手

ガールズケイリンの新たなレース体系

グランプリ出場権が与えられるGIレースの「パールカップ」「オールガールズクラシック」「競輪祭女子王座戦」を新設。



最高峰のレース「ガールズグランプリ」の優勝賞金はなんと1,330万円! (2023年実績)

他競技からの入所者スポーツ歴一覧(直近4回生)

男子	121回生	123回生	125回生	127回生	合計
野球	18	19	21	14	72名
陸上競技	15	11	14	8	48名
サッカー	8	10	8	7	33名
バスケットボール	5	1	2	4	12名
水泳	4	2	3	1	10名
ソフトテニス	1	3	2	3	9名
柔道	2	2	2	0	6名
ラグビー		2	3	1	6名
バドミントン	1	1		3	5名
バレーボール		3	2		5名
空手		1	1	3	5名
スキー	2		1	1	4名
剣道	2	1			3名
ハンドボール	1		1		2名
ウエイトリフティング			1	1	2名
スピードスケート			1		1名
パワーリフティング				1	1名
ボート	1				1名
スケルトン	1				1名
アイスホッケー	1				1名
フィールドホッケー				1	1名
体操				1	1名
卓球				1	1名

女子	122回生	124回生	126回生	128回生	合計
陸上競技	8	4	8	2	22名
バスケットボール	4	4	2	2	12名
ソフトボール	1	2	1		4名
バレーボール	1	2		1	4名
トライアスロン		2	1	1	4名
サッカー	2	1			3名
スピードスケート		1		1	2名
空手		1	1		2名
野球			2		2名
バドミントン				1	1名
ボート			1		1名
水泳			1		1名
柔道				1	1名
ハンドボール		1			1名
ウエイトリフティング			1		1名
ボクシング				1	1名
セーリング				1	1名

※複数のスポーツ経験者については、人数を重複して計上しています。

モデルケース(適性試験合格者の例)

野口 裕史

〈のぐち ひろし〉



- ①生年月日: 1983年5月3日
- ②運動歴: 陸上競技
(ハンマー投げ・適性入所)
- ③期別: 111期
- ④2023年獲得賞金: 3,469万円

児玉 碧衣

〈こだま あおい〉



- ①生年月日: 1995年5月8日
- ②運動歴: バレーボール(適性入所)
- ③期別: 108期
- ④2023年獲得賞金: 2,534万円
- ※2018~2020年 3年連続賞金女王

野本 怜菜

〈のもと れな〉



- ①生年月日: 1998年5月27日
- ②運動歴: 陸上競技(適性入所)
- ③期別: 114期
- ④2023年獲得賞金: 1,401万円

日本競輪選手養成所関連の情報



日本競輪選手養成所

〈公式ホームページ〉 URL <https://keirin-jik.jp/index.html>

詳しくは
こちらから



〈公式Instagram〉 URL https://www.instagram.com/japan_institute_of_keirin/

詳しくは
こちらから



〈公式YouTube〉 URL <https://www.youtube.com/@user-bq1jf4py2f>

詳しくは
こちらから



けいりんマルシェ

〈ホームページ〉

URL <https://keirin-marche.jp/>



ガールズケイリン

〈公式サイト〉

URL <https://keirin-marche.jp/girlskeirin/>



More CADENCE

〈ホームページ〉

URL <https://morecadence.jp/>



CYCLE JKA Social Action

〈公式ホームページ〉

URL <https://www.jka-cycle.jp>

Question & Answer



入所試験関係

Q1:年に何回入所試験を実施しますか？

A: 技能試験、適性試験は、1年に1回のみです。
特別選抜試験は、随時募集を受け付けております。

Q2:募集人数は何人ですか？

A: 例年男子70名程度、女子20名程度です。

Q3:年齢の制限はありますか？

A: 入所する年度の4月1日時点で、満17歳以上であれば受験可能です。年齢制限の上限はありません。中には35歳で入所した人もいます。



Q4:自転車競技経験は必要ですか？

A: そのようなことはありません。自転車競技未経験者は適性試験での受験が可能です。

Q5:適性試験はどのような内容ですか？

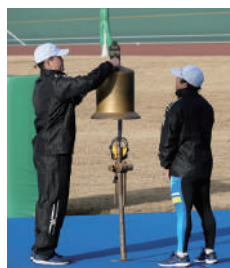
A: 1次試験では垂直跳び、背筋力計を使った測定、長座体前屈を行います。また2次試験では固定式自転車を使用し、

男子は6秒間測定及び45秒間測定、女子は6秒間測定及び30秒間測定を行います。1次試験の内容は動画で解説しておりますので、こちらのQRコードよりご覧ください。



Q6:いつから募集を始めますか？

A: 例年6月に募集の公示を行い、一般試験は6月から8月下旬まで募集を行います。特別選抜試験は6月から翌年の3月まで募集を行います。詳しくは、WEBサイトをご覧ください。



Q7:受験の回数に制限はありますか？

A: 2019年度の受験から5回の制限があります。また、初回の受験から8年が経過した場合（2018年度以前は初回受験に数えない）も受験することができません。



養成所生活について

Q8:日本競輪選手養成所では、どのようなことを学ぶのですか？

A: 自転車での走行技術はもちろん競輪に関する法律・ルールといった学科が、7科目あります。その他外来講師を招いた講義も多々あります。

Q9:養成所での費用はいくらかりますか？

A: 食費、施設利用料、養成所で着用する衣服の料金など合わせて約150万円かかります。しかし、在所中にかかる費用を無金利で貸し付ける「貸費制度」があり、費用を選手になってから支払うこともできますので、ご安心ください。また、7ページに記載の通り報奨金制度も設けられており、これまでも多くの候補生が報奨金を得ております。



Q10:在所中は、外出はできますか？

A: 当初養成終了後、日曜日に限り男子と女子を隔週に分けて外出を認めています。時間は8:30~17:30と決まっています。※感染症拡大等の社会情勢に応じて、実施しない場合があります。

Q11:髪型は男子は丸刈り・女子はベリーショートでないとダメですか？

A: そんなことはありません。男子は髪が耳に掛からない程度で、染髪をせず、清潔感がある髪型、女子は髪ゴム等で纏められ、染髪せず、清潔感がある髪型の範囲内であれば制限はありません。



Q12:携帯電話は使用できますか？

A: 構内での使用は禁止しています。ただし、日曜外出時・帰省時に養成所の正門を出て、構外であれば、使用を認めています。



Q13:養成所を卒業するための条件はありますか？

A: 3回実施する卒業認定試験に合格することや養成所で定められた規則を守り、必要履修数出席することなどが求められます。

